

令和 7 年度取組内容について

<令和 7 年度 第 2 回 沖縄県地域公共交通協議会>

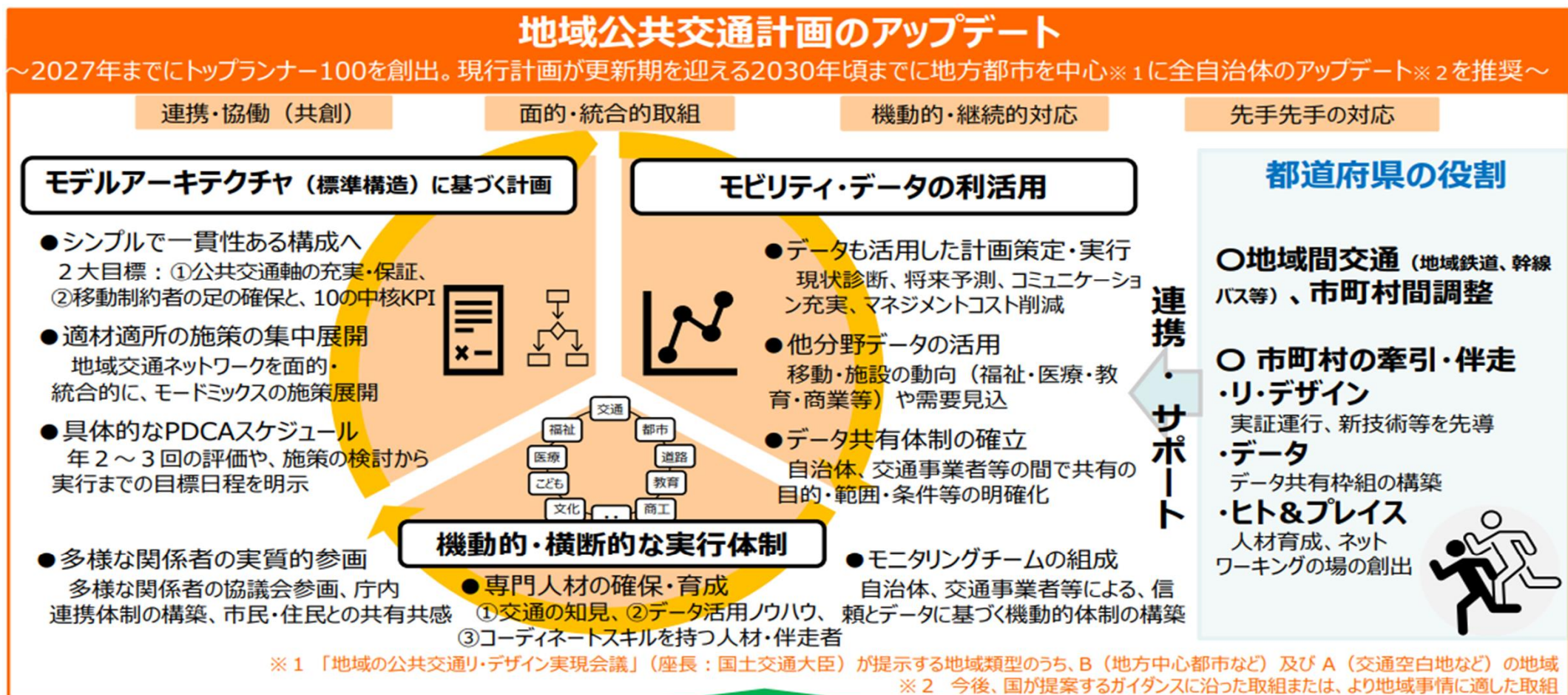
令和7年 6 月 9 日
沖縄県

1 地域公共交通計画に関する国の取組動向について

1 地域公共交通計画に関する国の取組動向について

(1) 「地域公共交通計画」の実質化に向けた検討会中間とりまとめ

- 国土交通省では、**R6.4に「地域公共交通計画」実質化に向けたアップデートの中間とりまとめ**がなされ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画へとして、モビリティ・データの活用や市町村間調整や市町村の牽引等の都道府県の役割が示された。また、**R7.3**には自治体等が「交通空白」の解消を進めるための支援ツールの一つとして、**地域公共交通計画の立案等にあたってのモビリティデータの活用方法等**を紹介した「アップデートガイダンス Ver1.0」が公表された。



国による推進策（例）

ガイダンスの提供

モデルアーキテクチャ（標準構造）など
計画策定のガイダンスの策定

ポータルサイトの整備

ベンチマークの提供
協議会マネジメント支援

対話型支援

地域公共交通計画等を有識者
等との対話によりレベルアップ

官民デジタル化

車両IoT化、国への申請等デジタル化、
データ共有の枠組構築の推進

専門人材の確保・養成

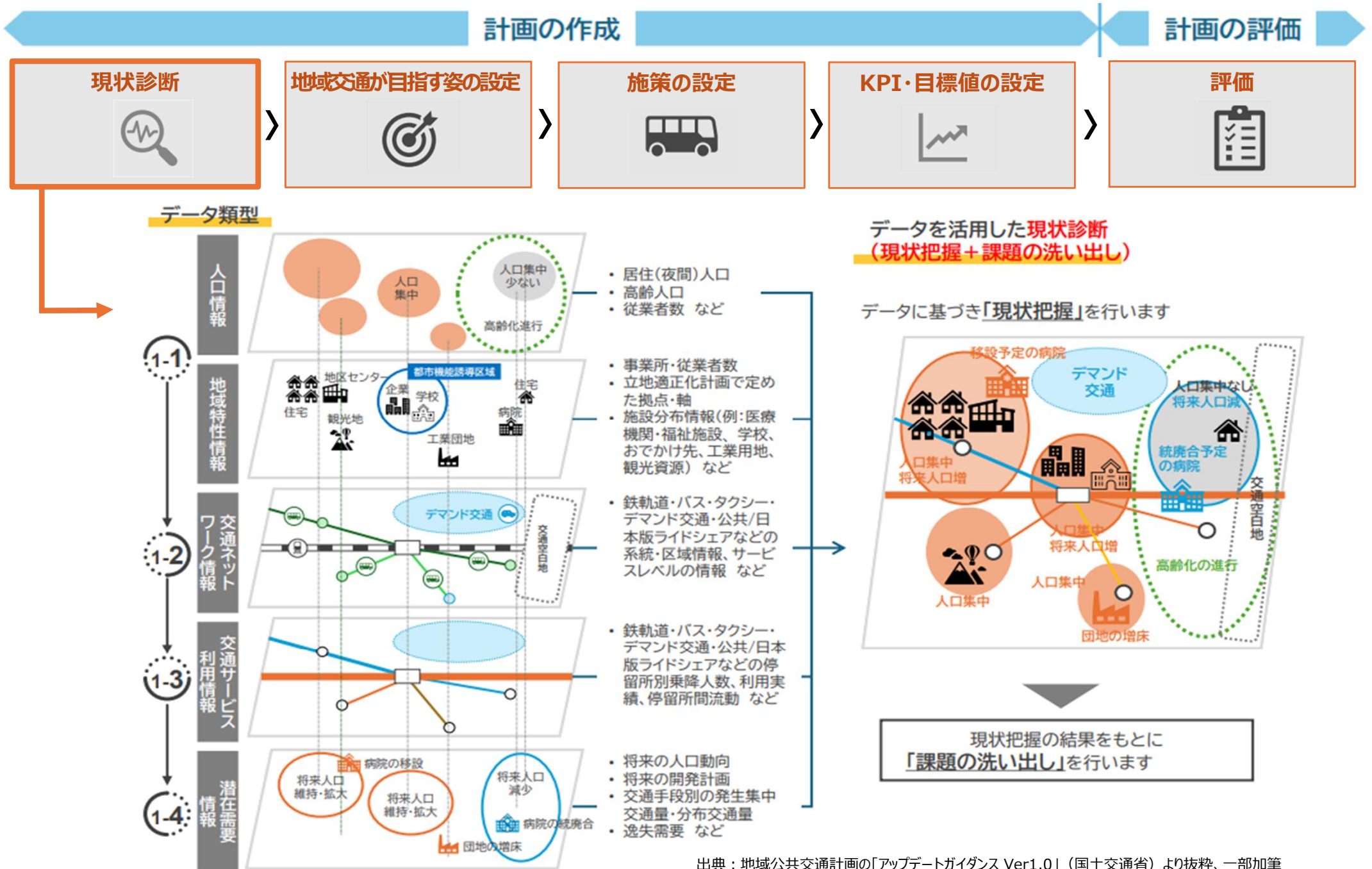
有識者等データベース
専門人材養成プログラム

※「地域の公共交通リ・デザイン実現会議」における検討を踏まえ、関係省庁とともに先行的な取組を行う自治体を支援

出典：地域公共交通計画の実質化に向けた検討会中間とりまとめ（国土交通省）より抜粋

1 地域公共交通計画に関する国の取組動向について

(2) 地域公共交通計画の「アップデートガイダンス Ver1.0」ーデータを活用した現状診断のポイント



2 地域公共交通計画アップデートに向けた モビリティデータ活用の調査検討について

2 地域公共交通計画アップデートに向けたモビリティデータ活用の調査検討

(1) 令和7年度の取組概要

- 今年度は、既往地域公共交通計画の推進と達成状況の評価に加え、「地域公共交通計画」実質化に向けたアップデートの中間とりまとめで示された都道府県の役割等も踏まえ、①市町村勉強会を実施する。
- さらに②モビリティデータ活用のための具体的な手法や手順等の検討を行い、市町村が地域公共交通を検討する際の参考となるよう、地域公共交通協議会の分科会に位置づけられている市町村連携交通会議のWG等で情報提供等を実施していく。

令和7年度の取組概要

既往地域公共交通計画の推進と達成状況の評価 + 地域公共交通計画の実質化に向けたアップデート等の取組

①市町村向け勉強会の実施

目的：沖縄県の陸上交通の状況、課題、国の動向、最新の交通施策（リ・デザインに関する施策等）の紹介等、交通を担当する職員等が交通施策遂行にあたり必要な知識の会得機会の提供

ねらい：沖縄本島における地域公共交通のマネジメント体制のボトムアップ

内容：以下をポイントに講演及びパネルディスカッション形式を想定（夏ころ開催を想定）

- ・沖縄本島の陸上交通に関する動向の体系的な把握
- ・国・県・市町村・交通事業者の各考えの理解 等

②モビリティデータ活用のための具体的な手法や手順等の検討

1) 沖縄で活用可能なモビリティデータの存在及びそのデータ特性や課題等の整理



2) モビリティデータを活用した分析方法や、分析で導くアウトプット等の検討



3) 沖縄で求められるモビリティデータを明確にし、その整備・更新に向けたあり方検討

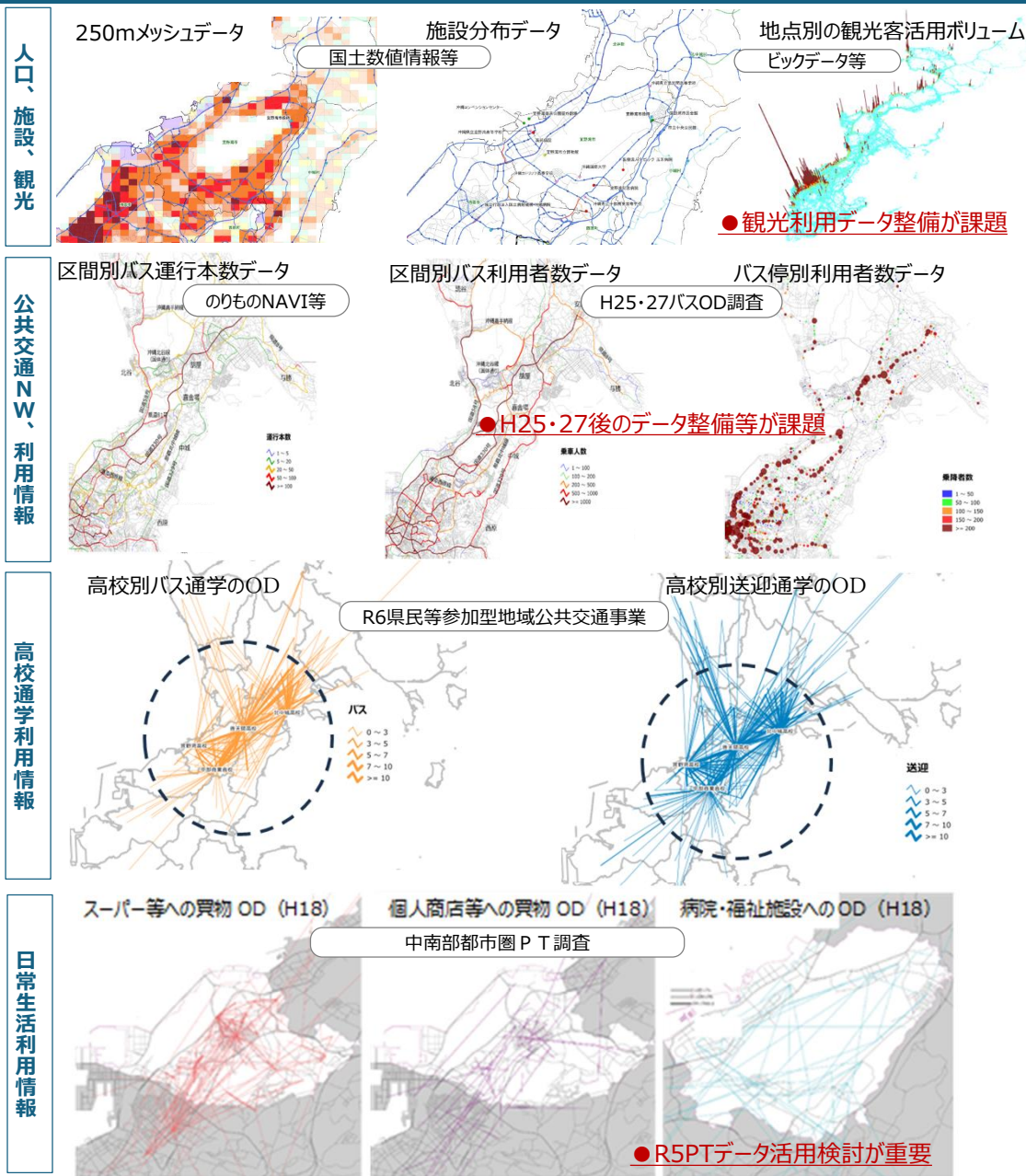


4) 上記の1)～3)を庁内及び市町村関係者に報告・共有
⇒各圏域市町村連携交通会議のWG等の活用を想定

2 地域公共交通計画アップデートに向けたモビリティデータ活用の調査検討

(2) モビリティデータ活用のための手法等の検討のイメージ (案)

現状の主なモビリティデータと課題



モビリティデータ活用検討の流れ

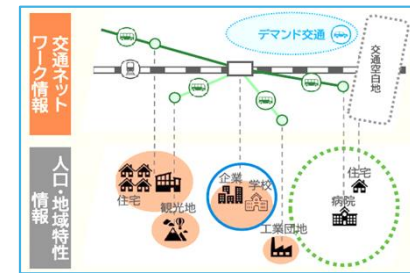
【方針1】 沖縄で活用可能なモビリティデータの存在及びそのデータの特性や課題等の整理

- ①人口情報 (夜間人口等)
- ②地域特性情報 (施設等)
- ③交通ネットワーク情報 (運行水準等)
- ④交通サービス利用情報 (利用者数等)
- ⑤潜在需要情報 (需要動向等)

- 1)データの存在と特性の整理
 - ・利用可能データ (GIS等)
 - ・購入要データ (ビックデータ等)
 - ・不存在データ (バスOD等)
- 2)データの活用可能性と課題

【方針2】 モビリティデータを活用した分析方法や、分析で導くアウトプット等を検討

各種モビリティデータを重ね合わせ、枝、葉、共通の課題を整理



枝：公共交通軸と拠点の充実・保証

葉：「交通空白」における移動の確保

共通：持続可能性・実現可能性の確保

【方針3】 沖縄で求められるモビリティデータを明確にし、その整備・更新に向けたあり方等を検討

※沖縄で特に求められるモビリティデータは、現時点では以下のような項目を想定

時点に応じた公共交通
のネットワーク情報
の整備等

時点に応じた公共交通
のサービス利用情報
の整備等

観光客の
サービス利用情報
の整備等

上記を踏まえた、モビリティデータの現状と課題、活用方法、整備・更新に向けたあり方等について、関係者に報告・共有

3 圏域別公共交通ネットワークイメージの 具体化に向けた調査検討について

3 圏域別公共交通ネットワークイメージの具体化に向けた調査検討

(1) ネットワークイメージ具体化に向けた検討状況と主な課題

- **市町村連携交通会議は、沖縄県地域公共交通協議会の分科会**と位置づけられており、沖縄県地域公共交通計画の各施策・事業を推進するため、県・市町村・交通事業者等で協議・調整を行っている。
- **R6年度**には、日常生活での市町村域を跨ぐ移動に対する公共交通サービスの充実を図ることを目標に、**各圏域の検討テーマを設け議論**を進め、**ネットワークイメージの方向性**と**具体化に向けた課題**を整理してきた。**R7年度**は、課題を踏まえた検討を進め、**圏域別ネットワークイメージの具体化**を図っていく予定。

市町村連携交通会議の位置づけ

沖縄県地域公共交通協議会

内容：地域公共交通計画の策定、事業実施、モニタリング、評価、変更
体制：学識、利用者、事業者、国、県、市町村等

部会・分科会の協議内容を報告

市町村連携交通会議

部会（沖縄県生活交通確保維持協議会）

内容：赤字バス路線の運行費欠損補助
・地域間幹線系統確保維持計画の検討
・生活バス路線確保維持計画の検討
体制：関係市町村、事業者、国、県等

分科会（北部、中部、南部）

内容：各圏域の公共交通課題への対応
体制：事業者、国、県、市町村等

WGの設置
(課題に応じたWG)



連携・情報共有等

沖縄県公共交通活性化推進協議会

内容：国道58号を中心とした基幹バスシステムの導入
体制：学識、利用者、事業者、国、県、沿線市町村等

市町村連携交通会議の工程と各圏域の検討テーマ

R6年度 検討内容

計画時点の圏域公共交通ネットワークイメージの方向性

- ・ネットワークの基本方針
- ・ネットワークイメージの方向性
- ・交通結節点の方向性
- ・実現に向けた課題の整理

R7年度 検討内容

圏域別の公共交通ネットワークイメージの具体化

- ・バス網効率化を踏まえたネットワークイメージ（リソースを踏まえる）
- ・公共交通サービスの役割分担（枝・葉の連携）を含めた維持確保方策



圏域別ネットワークイメージの具体化に向けた検討テーマ

北部圏

名護交通結節点や
北部医療センター
整備時点の
公共交通ネットワーク
の形成

中部圏

国道58号基幹バスや
胡屋交通結節点
整備時点の
公共交通ネットワーク
の形成

南部圏

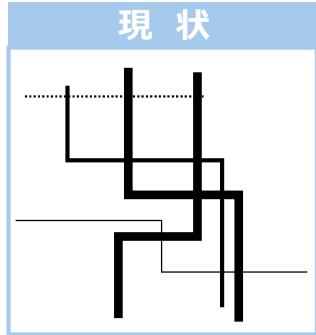
MICEや
糸満の交通結節点
整備時点の
公共交通ネットワーク
の形成

3 圏域別公共交通ネットワークイメージの具体化に向けた調査検討

(2) ネットワークイメージ具体化に向けた検討イメージ (案)

【方針1】 運転手不足等のリソースを踏まえた近い将来起こり得る事態を関係者と共有

● 現況のバス路線をベースに、各圏域で走行キロが3～4割削減した場合に、起こり得る事態を想定



1) 地域や利用者に想定される事態

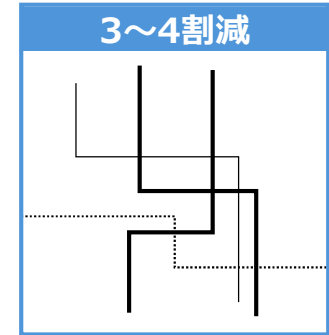
- ・高校通学、高齢者の通院、通勤等で路線バスを利用できる機会が大幅に減少
→日常生活への支障、移動困難者の増加、益々の自家用車依存等

2) 事業者想定される事態

- ・路線バス事業の収入や収益の低下 (益々負のスパイラル化へ)
→公共交通事業者の魅力低下による運転手不足、更なるリソース不足への懸念

3) 社会全体に想定される事態

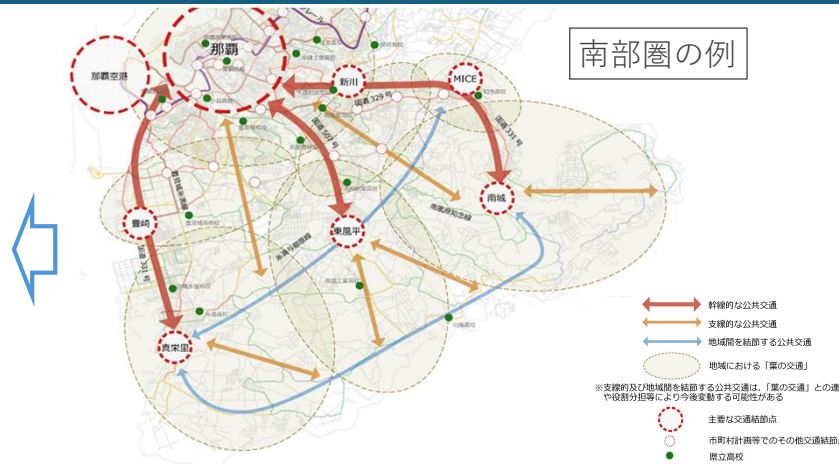
- ・持続不可能な社会に (郊外化、拠点性にも乏しい街沖縄へ)
→通学送迎の増加、マイカー通勤の増加による渋滞の悪化
→高齢者による交通事故の増加、労働生産性や観光振興への影響も



【方針2】 限られたリソースでの「ネットワークイメージの方向性」の効果と課題を共有

ネットワークイメージの効果

- ◆ 路線バス (幹、枝)、コミバス等 (葉) が連携し面的サービスを維持することで、地域・住民の足を確保
- ◆ 路線バス事業性を確保
- ◆ 幹線的な公共交通機能を強化できれば公共交通の利用促進も期待



ネットワークイメージの課題

- ◆ 地域間を結ぶ幹線・支線となる交通と地域内の交通手段となる葉の交通との連携が必須
- ◆ 交通結節点の機能や活用方法、フィジビリティ検討が重要
→ 上記は、市町村等での対応可能性を含めた確認・調整等がポイント

【方針3】 上記課題を関係者で協議・調整し、「ネットワークイメージの具体化」を検討・確認